

平成28年11月8日

鹿児島大学病院 放射線科で

甲状腺癌術後の放射性ヨード治療を受けた患者さんへ

( 臨床研究に関する情報 )

鹿児島大学病院放射線科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

甲状腺癌術後の放射性ヨード治療における甲状舌管集積についての検討

【研究機関】

鹿児島大学病院 放射線部

【研究責任者】

鹿児島大学病院 放射線部

助教 神宮司メグミ

【研究の目的】

甲状腺癌術後に甲状腺床の焼灼あるいは転移巣の治療のために放射性ヨード治療が行われています。その際、シンチグラフィで前頸部集積がある場合は、その焼灼効果について、半年後くらいを目安に再度放射性ヨードを用いたシンチグラフィを行うことにより確認しています。SPECT/CT でみますと前頸部の中でも甲状舌管といわれる部分に集積していることがありますが、その頻度や焼灼のされやすさについての詳細な報告があまりありません。また焼灼効果

についてはサイログロブリン値も参考にされていますが、甲状舌管集積とサイログロブリン値の関連についても明らかにはなっていません。これらを明らかにすることは今後放射性ヨード治療を受ける患者さんの画像評価や焼灼効果を予測する上で役立つと思われます。

本研究の目的は甲状腺癌術後に初回の放射性ヨード治療を受けた患者さんのシンチグラフィ画像における甲状舌管集積の頻度およびその焼灼効果、サイログロブリン値との関連を調べることです。

#### 【研究の方法】

- 治療時の放射性ヨード（I-131）シンチグラフィ、SPECT/CT 画像をみなおし、甲状舌管への集積の頻度をみます。
- 放射性ヨード治療 6～9 か月後のシンチグラフィにおける頸部集積から甲状舌管集積の焼灼成功率をみます。
- サイログロブリン値と甲状舌管集積との関連を調べます。

#### ●対象となる患者さん

甲状腺癌術後に初回の放射性ヨード治療を平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日の間に当院で受けた患者さんで、かつ、頸部 SPECT/CT が撮像されている患者さん。

#### ●診療録（カルテ）から利用する情報

- 放射性ヨード治療のシンチグラフィ、SPECT/CT 画像
- 年齢、性別、病理診断、血中サイログロブリン値

#### 【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科放射線診断治療学分野の研究費（使途特定寄付金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 放射線部

助教 神宮司 メグミ

電話 099-275-5417      FAX 099-275-1106